

## 万博×環境 未来を描こうプロジェクト 第3回 ミーティング 議事録

[日 時] 2019年12月4日(水) 18時～20時

[会 場] 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー) 41階 共用会議室⑤

[参加者] チームメンバー12名、スタッフ4名

[概 要] 2025年大阪・関西万博に向けて、多くの若者(16～29歳)から、実現して欲しい環境・まちづくり等のアイデアを集約、発信する「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」の第3回ミーティングを開催した。

グループごとに議論し、アイデアの内容を深めた後、専門家等へのヒアリング内容に加え、今後のスケジュールについても確認した。

12月23日に次回(第4回)ミーティングを開催し、最終発表へのプレゼン準備を行う予定である。

- [次 第] 1. 各グループの進捗状況の共有  
2. グループ毎の協議  
3. グループ毎の今後のスケジュール確認

### 1. 各グループの進捗状況の共有

各グループの進捗状況について、次のとおり、メンバーで共有しました。

- 1班: 若者から多くのアイデアの収集ができて一方、検討がまだ不十分。今後、アイデアの実現方法等について議論していく。
- 2班: テーマである「まちづくり」は検討すべき対象が広いので、範囲を狭めて内容を深めていく方向で議論している。一方、ヒアリング内容については未定であり、今後検討していく。
- 3班: テーマを①海洋プラスチックごみ、②フードロス、③3Rの3点に絞り議論を進めている。一方、ヒアリング内容については未定であり、今後検討していく。
- 4班: テーマである「自然資本」を『森』に絞って議論している。また、若者からの意見も回収し始めている。小学生を対象とした意見収集については、年明けに実施予定である。
- 5班: 2つのアイデア(①人間の死の側面からの環境問題への行動促進の方法、②若者の社会運動や芸術活動を取り上げるパビリオン構想)の議論が進んでいる。②のアイデアに関して、「芸術を通じて環境のアイデアを見せる場があれば、どんな出し物をしたいか」についての意見を募る予定である。

### 2. グループ毎の協議

グループに分かれアイデアの検討を進めました。なお、参加人数の少ないグループについては、他班のメンバーやスタッフから意見を貰いつつ、検討を進める時間も設けました。

#### [1班]

○最終発表に向けて、深めていく内容は以下のとおり。

##### ①再生可能エネルギーについて

再生可能エネルギー(宇宙太陽光発電、潮力発電、廃棄物発電、ワイヤレス給電、電池の固体化)について、取り組むテーマを1つに絞ることができなかつたため、ヒアリングを行ってから絞ることを検討する。ヒアリング先は、宇宙太陽光発電を京都大学、廃棄物発電及び電池の固体化は関西電力を想定。

##### ②電力の地産地消について

電力の地産地消を進める上での課題である電送ロスの軽減法(コミュニティを小さくする等)について、関西電力へヒアリングを行い検討する。

○アンケート等により若者からの意見は十分に集まったものの、抽象的な事項が多いため、これからアイデアにどう活かしていくかの検討が必要。

#### [2班]

○テーマである「まちづくり」は範囲が広いので、取り組む分野の一覧を挙げ、その中からグループからの意見が少なかった分野を削除した。また、「娯楽」と「文化」、「環境」と「食品」、「交通」と「インフラ」、「ネット」と「文化」、「建築」と「インフラ」の統合を行った。加えて、「農林水産」を「少子高齢化」に変更し「福祉」と統合した。その結果、まちづくりに関して取り組んでいく分野は①インフラ、②行政運営、③観光、④教育、⑤環境、⑥文化の6点に

集約された。この中からさらにグループメンバーを各担当に分ける想定。

- 今後、グループメンバーが各々2人程度に、担当分野に関する課題をヒアリングする。

### 【3班】

- 他班やスタッフから、アンケートを行うことが目的ではなく、若者からの意見を集め、具体的なアイデアに落とし込んでいくことの方が重要との指摘があり、若者からの意見収集の内容について以下の修正を行った。
  - ・ 海洋プラスチックごみ、フードロス、3Rに関心があるかどうかについての問いを削除。
  - ・ 各質問内容を、さらに具体的な質問内容に変更。
  - ・ アイデアを募る項目を追加。
  - ・ 若者からの意見収集はテーマに関心があり信頼できる知人数人に対して行う。
- 問題解決のための新技術や新制度について研究している教授や、テーマに対して活動しているNPO法人をヒアリング先として想定しており、研究・活動内容や、自分たちのアイデアに対してのアドバイスを貰うヒアリングを想定している。

### 【4班】

- 今後必要な作業は次のとおり。
  - ・ アンケートの質問文修正
  - ・ 若者からの意見収集の実施及び集計
  - ・ 若者からの意見を元に、万博で提案するアイデアの考察
  - ・ 発表資料の作成
- ミーティングで他班やスタッフから出た意見は次のとおり。
  - ・ アイデアにもっと新奇性を持たせたほうがいい。
  - ・ 2030年がどんな状況かを想像してアイデアを出すといい。
  - ・ アンケートを行うことは目的ではなく、アイデアを出すことが目的である。
  - ・ 万博は社会実験を行う場だと考える。

### 【5班】

- グループメンバー4人を2テーマ（①若者ステージ、②死について）2人ずつに分けた。今後各自に取り組んでもらいたいことを連絡し、ヒアリングと若者からの意見収集は年内に完了予定。

---

## 3. グループ毎の今後のスケジュール確認

---

### 【1班】

12月9日 : グループで集まり、ヒアリングの際に聞きたい内容の決定。

### 【2班】

～12月6日 : 取り組む分野を選択  
～12月23日 : 各分野の過去事例、現状分析、解決策などの案を出す。  
～12月23日 : 担当する分野の課題・解決策を知人（2人）にヒアリングする。

### 【3班】

～12月8日 : 若者からの意見収集について内容の変更  
12月9～15日 : 若者からの意見収集実施  
～1月中旬 : 3～4回のチームミーティング

### 【4班】

～12月10日 : 若者からの意見収集について内容の決定  
12月10日 : グループミーティング  
12月11日～ : 若者からの意見収集の再実施及び小学生向けの意見収集の内容詰め  
～12月23日 : 若者からの意見収集の再実施  
12月24日～ : 集計とアイデアの発案  
1月上旬 : 最終発表の資料作成

### 【5班】

LINEで日程調整を行う。